

# 日本比較経営学会

## 第37回大会プログラム

### 【統一論題】

比較経営学のパラダイムを求めて  
—高リスク社会における中小企業の未来—

2012年5月11日（金）～5月13日（日）

駒澤大学 駒沢キャンパス・深沢キャンパス

【駒沢キャンパス】 世田谷区駒沢 1-23-1

【深沢キャンパス】 世田谷区深沢 6-8-18

### 大会日程

5月11日 （金） 【駒沢 キャンパス】							15:00~18:00
							理事会 【本部棟5階5-4会議室】
5月12日 （土） 【駒沢 キャンパス】	9:20~	9:50~10:00	10:05~12:30	12:30~14:00	14:00~16:10	16:20~17:20	17:45~
	受付	開会 【1-301】	ミニシンポ 【1号館】	昼食 (理事会)	分科会 セッション 【1号館】	会員総会 【1-301】	懇親会 【深沢キャンパス】 大ホール
5月13日 （日） 【深沢 キャンパス】	9:20~	9:50~12:30		12:30~13:30	13:30~16:35	16:35~16:40	
	受付	公開シンポジウム 【アカデミーホール】		昼食 (理事会)	統一論題 【アカデミーホール】	閉会 【アカデミーホール】	

5月11日（金）：駒沢キャンパス

5月12日（土）：駒沢キャンパス 大会受付：1号館 1-202 教場前 \*懇親会会場は深沢キャンパスです。  
 会員控室：1-202 A会場：1-301 B会場：1-203 C会場：1-204

5月13日（日）：深沢キャンパス 大会受付：120周年アカデミーホール前  
 会員控室：洋館大ホール

5月12日(土) 【駒沢キャンパス】

9:20~ 受付 【1-202 教場前】

9:50 ~10:00	開会 日本比較経営学会理事長 夏目啓二 (龍谷大学) 【A会場：1-301 教場】		
10:05 ~12:30	<p>ミニシンポ I 【A会場：1-301 教場】 <b>CMS (Critical Management Studies) とは何か</b></p> <p>コーディネーター： 夏目啓二 (龍谷大学)</p> <p>司会・解題：夏目啓二 (龍谷大学)</p> <hr/> <p>報告 1 仲田正機 (立命館大学[名誉教授]) 英国における CMS の展開</p> <p>報告 2 林 正樹 (中央大学[名誉教授]・中京学院大学) AOM における CMS の動向</p> <p>報告 3 薄井和夫 (埼玉大学) マーケティングにおける CMS</p> <p>討論者： 稲村 毅 (神戸学院大学)</p>	<p>ミニシンポ II 【B会場：1-203 教場】 <b>原発はいらない！ —共生社会と「市民の経営学」—</b></p> <p>コーディネーター： 藤原隆信 (京都経済短期大学)</p> <p>司会：藤原隆信 (京都経済短期大学)</p> <hr/> <p>報告 1 中村共一 (岐阜経済大学) 原発リスクと現代資本主義—生産力神話を超えて—</p> <p>報告 2 重本直利 (龍谷大学) 原発問題、企業、そして「市民の科学」へ</p> <p>討論者： 貫 隆夫 (武蔵大学[名誉教授])</p>	<p>分科会セッション I ワークショップ A 【C会場：1-204 教場】 <b>日本企業のガバナンス・システム はどこまで機能しているのか？</b></p> <p>コーディネーター： 松田 健 (駒澤大学)</p> <p>司会：松田 健 (駒澤大学)</p> <hr/> <p>報告 1 松田 健 (駒澤大学) 日本型トップマネジメントの限界：内 向き指向と機能不全</p> <p>報告 2 西 剛広 (明治大学) 日本企業のガバナンスの多様性とそ の限界：市場志向か？関係性志向か？ ハイブリッド志向か？</p> <p>報告 3 國島弘行 (創価大学) 誰のための会社で「ある」か、に「す る」か</p> <p>討論者：柴田 明 (香川大学) 山縣正幸 (近畿大学)</p>
12:30 ~13:50	昼食 【会員控室：1-202 教場】 理事会 【本部棟 5階 5-4 会議室】		

5月12日(土) 【駒沢キャンパス】

<p>14:00 ~16:10</p>	<p><b>分科会セッションII</b> <b>ワークショップB</b> <b>【A会場：1-301 教場】</b> 今日のドラッカー像とその革新 —新しい経営コンセプトと新しい社会ビジョン— コーディネーター： 宮内拓智（成美大学） 夏目啓二（龍谷大学） 司会：重本直利（龍谷大学）</p>	<p>14:00 ~</p>	<p><b>分科会セッションIII</b> <b>自由論題①</b> <b>【B会場 1-203 教場】</b> アジアにおける外資企業の現地化 コーディネーター： 横井和彦（同志社大学） 司会：所 伸之（日本大学）</p>	<p><b>分科会セッションIV</b> <b>自由論題②</b> <b>【C会場：1-204 教場】</b> 司会：劉 永鶴（東洋大学）</p>
	<p>報告1 宮内拓智（成美大学） ドラッカー・ブームの深淵 報告2 三宅正伸（龍谷大学） ドラッカー自由論について 討論者：藤原隆信（京都経済短期大学）</p>	<p>14:00 ~ 14:40</p>	<p>報告1 <b>【報告 25分・質疑 15分】</b> 洪 性奉（同志社大学・院） インド家電市場における LG 電子の現地化戦略 討論者： 那須野公人（作新学院大学）</p>	<p>報告1 <b>【報告 25分・質疑 15分】</b> 陸 雲江（龍谷大学・院） 中国 IT 産業における技術発展と技術移転—「技術者を通じた技術移転」の観点からの考察— 討論者：齋藤 敦（徳島文理大学）</p>
		<p>14:45 ~ 15:25</p>	<p>報告2 <b>【報告 25分・質疑 15分】</b> 夏 世明（同志社大学・院） 中国における日系企業のホワイトカラーの現地化：日本的経営の可能性 討論者：横井和彦（同志社大学）</p>	<p>報告2 <b>【報告 25分・質疑 15分】</b> 陳 波（中央大学） 中国の企業所有権改革後における郷鎮企業の行方 討論者：中屋信彦（名古屋大学）</p>
		<p>15:30 ~ 16:10</p>	<p>報告3 <b>【報告 25分・質疑 15分】</b> 李 廷珉（ノースアジア大学） 韓国サムソン電子の東アジア戦略と日本的経営—経営制度の国際移転と進化の可能性— 討論者：林 尚毅（龍谷大学）</p>	<p>報告3 <b>【報告 25分・質疑 15分】</b> 岸田未来（摂南大学） スウェーデンの企業統治構造とコーポレート・ガバナンス改革 討論者：清水一之（明治大学）</p>
<p>16:20 ~17:20</p>	<p>会員総会 <b>【1-301 教場】</b></p>			
<p>17:45~</p>	<p>懇親会 <b>【深沢キャンパス 洋館大ホール】</b></p>			

5月13日(日) 【深沢キャンパス】

9:20~ 受付【120周年アカデミーホール前】

9:50~	シンポジウム開会 プログラム委員長 風間信隆(明治大学)【120周年アカデミーホール】
10:00 ~12:30	公開シンポジウム 【120周年アカデミーホール】 高リスク社会における中小企業の未来 — “待ち工場” からの脱却、“中小輝業” への挑戦— 司会：加藤志津子(明治大学) 田中 宏(立命館大学) *途中 休憩 5分 基調報告 吉田敬一(駒澤大学) グローバル・リスク時代と持続可能な地域づくりを支える中小企業の役割と課題 報告1 大橋正義(株式会社大橋製作所 代表取締役社長) 時代の転換期こそ、新事業・新製品の開発に挑戦—中小企業が持続し、発展するための4つの原動力— 報告2 瓜田 靖(中小企業家同友会全国協議会 政策局長) 危機への認識を深め信頼を得る中小企業へ—危機の中でも的確な状況判断ができる人材の育成—
12:30 ~13:30	昼食 昼食会場・会員控室【洋館大ホール】 理事会【洋館小ホール】 統一論題打合せ会場【2階 講義室2-3】
13:30 ~16:35	統一論題報告 【120周年アカデミーホール】 比較経営学のパラダイムを求めて —高リスク社会における中小企業の未来— 司会：櫻井秀子(中央大学) 山崎敏夫(立命館大学) *途中 休憩 5分 【各報告35分】 報告1 長山宗広(駒澤大学) 知識経済時代における中国北京のハイテク中小企業 報告2 山口隆之(関西学院大学) EU統合の深化とフランス中小企業—近年の政策にみる潮流— 報告3 柳町 功(慶應義塾大学) グローバル競争化の進展と韓国中小企業の発展課題 討論者：桜井 徹(日本大学) 馬頭忠治(鹿児島国際大学)
16:35 ~16:40	閉会 大会実行委員長 百田義治(駒澤大学)【120周年アカデミーホール】

### 日本比較経営学会第37回大会実行委員会

大会実行委員長 百田義治(駒澤大学経済学部)

大会実行委員会事務局 岩波文孝(駒澤大学経済学部)

〒154-8525 世田谷区駒沢 1-23-1 駒澤大学経済学部岩波文孝研究室気付

TEL. 03-3418-9628 (岩波研究室)

E-mail iwanami@komazawa-u.ac.jp